

2020年8月4日

東武鉄道株式会社

社員（草加駅勤務）の新型コロナウイルス感染について

東武鉄道（本社：東京都墨田区）では、東武スカイツリーライン草加駅に勤務する社員1名に新型コロナウイルス感染が確認されました。概要は下記のとおりです。

記

1 概況

当該社員は8月1日（土）に体調不良を感じ8月3日（月）に医療機関を受診、PCR検査を実施したところ、8月4日（火）に陽性と判明しました。なお、当該社員の最終勤務日は7月31日（金）で、以降、出勤はしていません。また、本件による列車運行への影響はありません。

2 感染した社員

駅業務を受託している東武ステーションサービス㈱の50代男性社員

勤務先：東武スカイツリーライン 草加駅（埼玉県草加市高砂2-5-25）

3 当該社員の業務内容

主に駅内事務室における事務作業やホームにおける案内業務をしており、お客さまとの接触については短時間かつ一定の距離をおいての接触に限られています。当社では、感染症対策のため1月31日（金）からマスク着用や手洗いなどを指示しており、当該社員もマスクを着用し業務にあたっていました。

4 対応

保健所による調査の結果、現時点ではお客さまとの濃厚接触の可能性は低いものと考えています。なお、同駅の社員には濃厚接触者がおり、当該濃厚接触者は自宅待機させるとともに、後日PCR検査が実施される予定です。

また、草加駅事務室内、お客さまが触れる箇所には消毒を実施しました。

これまで、マスク着用や手洗い・うがいなどの感染症対策の徹底や消毒液の設置などを実施してきましたが、引き続き関係官庁や所管保健所と連携して、感染症予防対策の強化と徹底に努めてまいります。

以上